

工商及び外資サービス

工商サービスは初めて行政手続きの簡素化を行った。本局は経済部の工商登記証明発行手続き授權を受けた他、2003年8月1日、ビザ業務の単一窓口サービスを始め、ビザ発行までの時間も1日に短縮、園区工商作業手冊及び外貿保稅法規彙編を發行でき、一元化サービス目標を達成した。

項目	件数(社数)
設備投資抵減証明件数	528件
園区事業5(4)年免稅認可或いは新興事業完成証明件数	8件
会社株設立及び変更登記件数	353件
外国籍人員雇用認可件数	112件
園区事業会社決算書表調査完成作業	44社
園区事業工場校正完成作業	34社
園区事業輸出入物資ビザ認可	333件
E化通関作業	32,083件
園区事業保稅品出区検査、アセンブリ、テスト	640件
園区事業委受託加工認可件数	67件
園区事業管理費課徴収完成件数	592件

表 5-2-1 2003年工商外貿サービス件数

企業職員の金融財稅及び輸出入事務等関連知識技能を高めるため、本局は2003年、工商財稅シリーズ講座を計4回行った。園区企業工商証明書巡回説明会を1回、11月科学園区保稅業務人員講習及び講座を各1回行った。

2003年、本局は工商サービス専区に上順旅行社 (Fantasy Travel)、理律法律事務所 (Lee and Li Law)、資誠會計師事務所 (Pricewaterhouse Coopers)、建華證券 (SinoPac Securities) 等4社業者が入居し、企業に專業財務、稅務、管理、資金募集、上市、上櫃、プロの法律診斷、情報提供サービス、ビジネス往復、ツアー等優れたサービス及び優待を提供している。

2003年までに、南科で日資が50%以上を占める企業は國際日東 (International Nitto)、頂正 (Finex)、西虹 (West Electric)、斯坦雷 (Taiwan Stanley)、琳得科 (Lintec)、住華 (SC-IK)、台南石英 (Tosoh Quartz)、優貝克 (ULVAC) 等8社がある。2003年3月、10月、2回の「局長と外資企業座談会」を行い、台湾、日本双方の交流を増進し、日資が園区の現在の各項建設に対する満足度及び将来計画の展望を理解し、関連の日資企業を引き続き進駐投資を導入していく。

自動化通関システム

スムーズな通関物流システムを作るため、本局では先ず駐区関税局を設置、ガード隊及び銀行を入居させ、24時間の快速通関自動化及びe化申請作業を提供している。



図 5-2-1 科学城物流会社

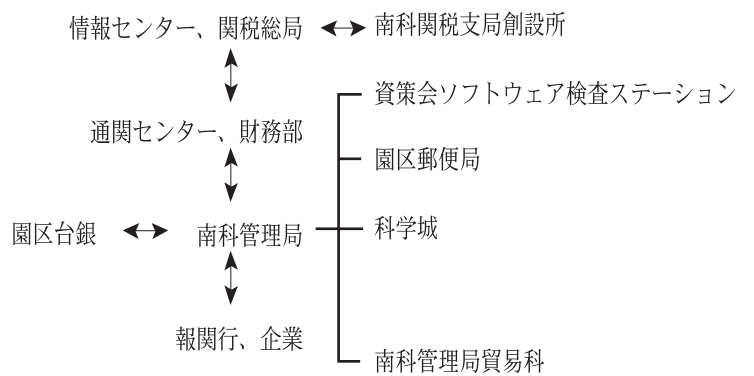


図 5-2-2 通関自動化流程

2003年5月1日、科学城物流株式有限会社の「物流センター」設立に同意し、同年11月物流センター執照を取得、自主管理、月ごとのレポート業務、園区企業の快速な通関、フレキシブルな運営時間、通関コストの引き下げ等利点を提供した。同時に園区内にガード隊を配備し、園区安全、税金保護及び機器周辺テスト作業を提供し、園区事業が研究、生産、製造、販売等の仕事に従事できるようにした。



図 5-2-3 ガード隊による保税防護



図 5-2-4 銀行による多元化サービス

生活機能サービス

本局はインフラ建設後、特に生活機能の向上を強化した。

1. シャトルバスサービス：2003年12月29日正式運営。
2. 複合型ショッピングストア：2003年10月27日、統一超商による複合型レストラン及びレジャー事業経営、計1,200



図 5-2-5 剣橋日本式レストラン浅草居

坪。

3. 2003年10月27日、剣橋飯店による日本式レストラン浅草居経営。
4. 2003年運動公園及び南科ビジネスホテル経営企業誘致開発計画案、2004年末企業誘致作業を完成する予定。



図 5-2-7 Park 17複合型ショッピングストア内の城邦書局



図 5-2-6 Park17複合型ショッピングストアの一角

売上高成長

2003年第一季売上高は毎月90数億台湾ドルを維持し、第二季は4月分の売上高が百億台湾ドルを突破した後、売上高は毎月飛躍的に成長しており、全年売上高は1,553億台湾ドル、そのうち、オ

プトエレクトロニクス産業売上高は躍進して園区売上高比例57.77%を占め、半導体産業は39.21%、その他産業も成長し、南科の開発效益は一目瞭然である。

台湾ドル億元

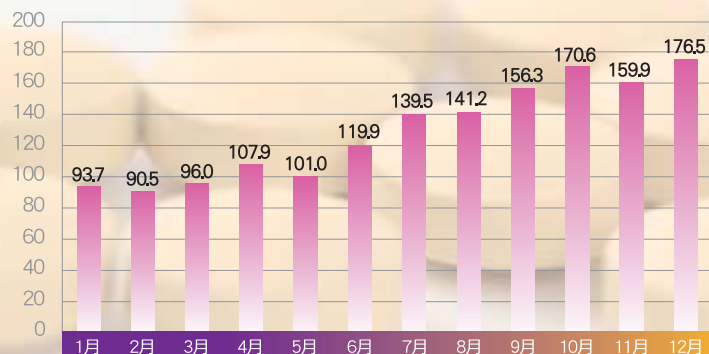


図 5-2-8 2003年企業売上高

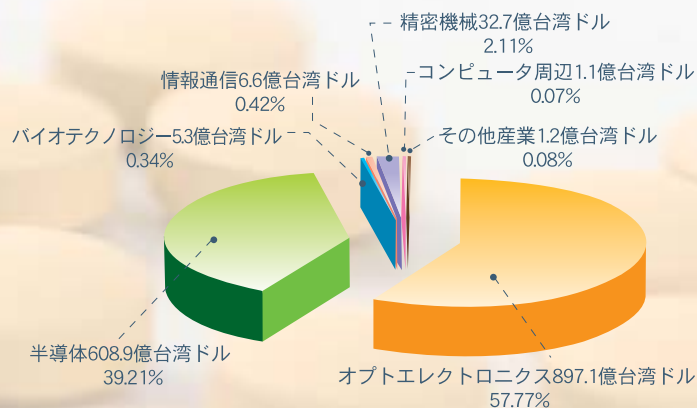


図 5-2-9 2003年各産業売上高

貿易額成長

輸入

2003年景気が徐々に回復し、園区企業投入資本支出が増加、下半年は明らかに大量の機器設備及び部品が大幅に輸入された。特にオプトエレクトロニクス産業工場拡張建設及び生産能力拡大等の要素で、全年輸入値は約1,167億台湾ドル（国内販売及び保税区の移転を含む）にのぼり、2002年と比べ47.85%の成長があった。そのうち12月輸入値は1月と比べ4倍以上成長した。

輸出

2003年も、安定した水準を維持し、下半年オプトエレクトロニクス及び半導体産業は景気回復の兆しの中、市場ニーズの上昇及び第四季電子産業輸出ピークにより、9月より輸出金額は毎月著しく成長しており、全年輸出値1,233億台湾ドル（国内販売及び保税区の移転を含む）、2002年と比べ55.88%成長している。

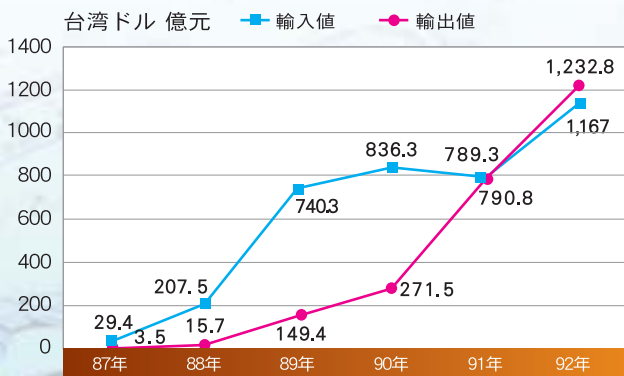


図 5-2-10 歴年企業輸出入値

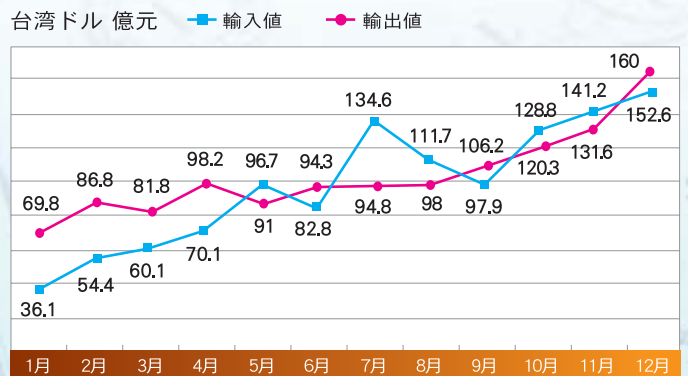


図 5-2-11 2003年企業輸出入値

園区の製品は世界各地に販売されており、主に香港、日本、韓国、アメリカ、シンガポール等国である。



図 5-2-12 2003年製品国際販売金額（国内販売及び保税区の移転を除く）